

## 第 253 回 役員会 議事要旨

- I 日 時 令和6年9月18日(水) 10:15 ~ 10:35
- II 場 所 文京キャンパス 本部棟2階 第1・第2会議室
- III 出席者 上田学長、安田理事、末理事、井上理事及び堀理事  
欠席者 松木理事  
陪席者 峠岡監事、佐野監事、大嶋副学長、永井副学長、内木副学長、窪田参与、  
花島参与及び事務局関係部課長

### IV 議 事

1. 会議の成立等について  
議事に先立ち、構成員6名中5名の出席により、定足数を満たしていることを確認した。
  
2. 第250回役員会、第251回役員会(書面審議)及び第252回役員会(書面審議)の議事要旨の確認について  
学長から、意見等の有無の確認を行い、原案どおり了承された。
  
3. 審議事項
  - (1) 目的積立金の使用計画(案)について  
理事(研究、産学・社会連携、ダイバーシティ担当)から、資料1に基づき、目的積立金の使用計画(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
  
4. 簡易審議事項
  - (1) 国立大学法人福井大学法人文書管理規程等の一部改正(案)について  
学長から、簡易審議事項として良いかの確認の後、資料2に基づき、国立大学法人福井大学法人文書管理規程等の一部改正(案)について、審議の結果、原案どおり了承された。
  
5. 討議事項
  - (1) 医学部附属病院の経営状況について  
副学長(医療担当)から、資料3に基づき、医学部附属病院の経営状況について報告があった。
  
6. その他
  - (1) 当面の行事予定について  
学長から、資料4に基づき、当面の行事予定について報告があった。

## 7. 次回役員会予定

学長から、次回は以下の通り開催する旨、案内があった。

日 時 令和6年10月23日(水) 10:15～(予定)

場 所 福井大学 文京キャンパス 本部棟2階 第1・第2会議室

第253回 役員会での主な意見

(○非常勤役員, □常勤役員, △副学長・監事・その他)

【目的積立金の使用計画(案)について】

△ 目的積立金2億2千万円余りのうち半分以上を使用するが、目的積立金というのは、毎年確実に増えて元に戻るものなのか。

△ 従来は決算剰余金が発生した場合、目的積立金という形で翌年度に繰り越すことが一般的であったが、近年、減価償却引当特定資産が設けられ、将来的に必要となる設備や建物の更新費用に引き当てるといった枠組みができた。そのため、目的積立金として積み立てておくよりも減価償却引当特定資産に積み立てた方が実用的であり、決算剰余金の額にもよるが、例えば、半分は目的積立金として、残りは減価償却引当特定資産として積み立てるといった取扱いをしていきたい。

ただ、第2期、第3期はかなり剰余金を持っていたが、第4期に入ってから物価高騰もあり、これまでと同じ規模の剰余金を確保することは難しくなっている。

【医学部附属病院の経営状況について】

□ 診療実績が2ヶ月程何千万円か下回っているが、なぜか。

△ 7月後半から8月にかけてコロナウイルス感染患者が非常に増え、その影響により予定していた手術が直前でキャンセルになるケースが多発した。急なキャンセルでは手術待機の方を代わりに入れることもできないため、手術室の稼働率は落ち、入院患者が減少する影響を受けた。一部病棟ではコロナウイルス感染患者が多く入院しており、感染拡大を防ぐため「汚染区域」や「清潔区域」のように場所を区分けするゾーニング等で対応をしていた。しかし、ゾーニングの該当区域は病床の利用率が低下し、一部の診療が一時的に救急の制限を行っていた。それにより、関連した診療科の緊急入院が減少するという連鎖反応が発生していた。